

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ①学生の確保の見通し

##### ア 定員充足の見込み

過去5年間の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、受験倍率及び定員超過率は下記の通りであり、入学定員を95名から100名に変更しても入学者確保には支障がないと考える。

【表1】

入学定員 (95)	2022 年度生	2021 年度生	2020 年度生	2019 年度生	2018 年度生
志願者	406	581	608	659	484
受験者	392	561	599	647	473
合格者	175	169	191	191	180
入学者	103	96	119	111	97
受験倍率	2.24倍	3.32倍	5.03倍	3.39倍	3.63倍
定員超過率	108.4%	101.1%	125.3%	116.8%	102.1%

##### イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

【表1】で示した過去5年の実績及び、2022年のオープンキャンパス（OC）への入学対象者の参加人数が608名（OC6回）で、2021年の601名（OC7回）を上回る結果であることは、定員充足の根拠となる客観的なデータであると考えます。

##### ウ 学生納付金の設定の考え方

今回の定員変更に伴う学生納付金の変更はない。

#### ②学生確保に向けた具体的な取組状況

大学HPや入学案内書での広報、進学ガイダンスへの参画や高等学校への訪問、OCの開催運営等を通じて学生確保に向けた取り組みを行っている。前述の通りOCへの参加者も昨年を上回っており、定員充足には問題がないものとする。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

看護学部看護学科では、看護職者として、身体・心理・社会的立場などあらゆる角度から人間理解を深め、豊かなコミュニケーション力をもって他者をいつくしむことのできる心を養い、幅広い教養と高い倫理観に基づくヒューマンケアリング、科学的知識ならびに合理的判断によって人々の健康・生活・環境を適切に支援できる人材を育成することを目的としている。また、創造力と探求力を備え、自律的に生涯学び続けることができる人物への自覚を育み、これからの少子高齢社会の保健・医療・福祉に貢献し、また国際的視野に立って時代を切り拓く人物を育成することを目的としている。

### ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

京都看護大学は58年を越える歴史を刻んだ京都市立看護短期大学から豊かな教育資源と伝統を受け継ぎ、京都府内唯一の看護系単科大学として、地域・京都市において看護専門職として社会に貢献する人材を育て、看護に係る高度な学術的知識だけでなく、国際社会に生きる一人の人間として、高い医療倫理や豊かな人間性を身につけ、幅広い教養と国際的な視野を備えた専門的人材の育成を目指している。

本学では各年次に即した段階的なキャリア形成支援を行っており、2年次では進路希望調査をはじめヘアメイク講座とマナー講座を実施、3年次にはインターンシップの情報提供と参加の推進及び個別相談を通して進路選択を支援している。また、3年次には、臨地実習施設及び就職先病院による「合同就職ガイダンス」を本学で開催し、病院の人事担当者や看護部長などから直接説明を聞くことのできる機会を提供している。4年次には、履歴書やエントリーシートの書き方、電話やメールでの対応方法、小論文、模擬面接などについて、対策講座と個別相談を組み合わせ支援している。

その結果、2018年3月の第1期生卒業以来、就職希望者の就職率は毎年100%である。加えて、第一希望就職率も過去5年平均で80%を超えており、社会的、地域的な人材ニーズに合致している客観的な根拠であると考えている。